

水稲用一発肥料には**プラスチック**が使われています

水田から流出させない **対策**をお願いします

被覆肥料は、プラスチック等で肥料をコーティングしているため、肥効の調節が可能です。施肥回数減による軽労化、施肥量の削減、養分の流出防止などの利点がありますが、一方で肥料成分が溶出した後の被膜殻が河川や海へ流出することが問題になっています。

被覆肥料のプラスチック殻は 水田から流出させないようにしましょう！



殻を流さないために



対策のポイント

対策1 浅水代かき

● 均平化

入水前に田面はできるだけ均平にしましょう

● 畦畔管理

あぜが崩れていないか確認しましょう
排水溝には止水板を設置しましょう

● 入水量

大部分の地表が見えるぐらい浅めの入水にしましょう

● 自然落水

移植前の落水は行わず自然落水により水位を調整しましょう

浅水での代かき



被覆殻が流出しない



落水せず当日～数日のうちに
移植しましょう！

対策2 ネットの使用

※強制落水を行う場合の対応策です。

① 材料を揃える

材料一覧例

100円ショップで入手可

/①玉ねぎネット

※ネットの網目は2ミリ以下

③クリップ

②BBQ用の網

④園芸用支柱



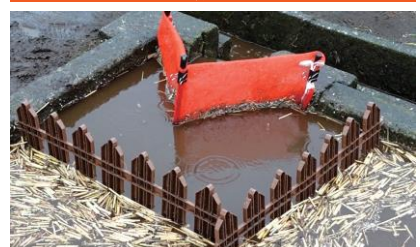
② 水尻に設置

藁がネットに詰まることを
減らすため、柵を2重にして
設置するなどしましょう

ネットのみ



園芸用の柵



＜より環境にやさしい肥料の研究・開発について＞

現在、既に肥料メーカーにおいてプラスチックを使用しない各種の化学合成緩効性窒素肥料等が販売されています。また、海洋プラスチックごみ問題を背景にして、様々な研究機関で生分解性樹脂などの環境にやさしい新素材の開発研究が進められており、今後の進捗が期待されています。これら環境にやさしい新素材を被覆肥料用に応用すべく、研究開発を推進しております。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS